

ARTS NPO FORUM in AWAJISHIMA

ART PROTOCOL: **淡路島アート議定書!**

全国アートNPOフォーラム in 淡路島
2007/12/14-16

今日の日本は、市民ひとりひとりが、みずから自分たちの必要とするサービスを自分たちの手で作り提供していく社会へと、変化を遂げつつあります。

1998年に公布・施行された特定非営利活動促進法によって、この変化は着実に日本社会に広がり、ますますNPO活動の社会的重要性が増しています。

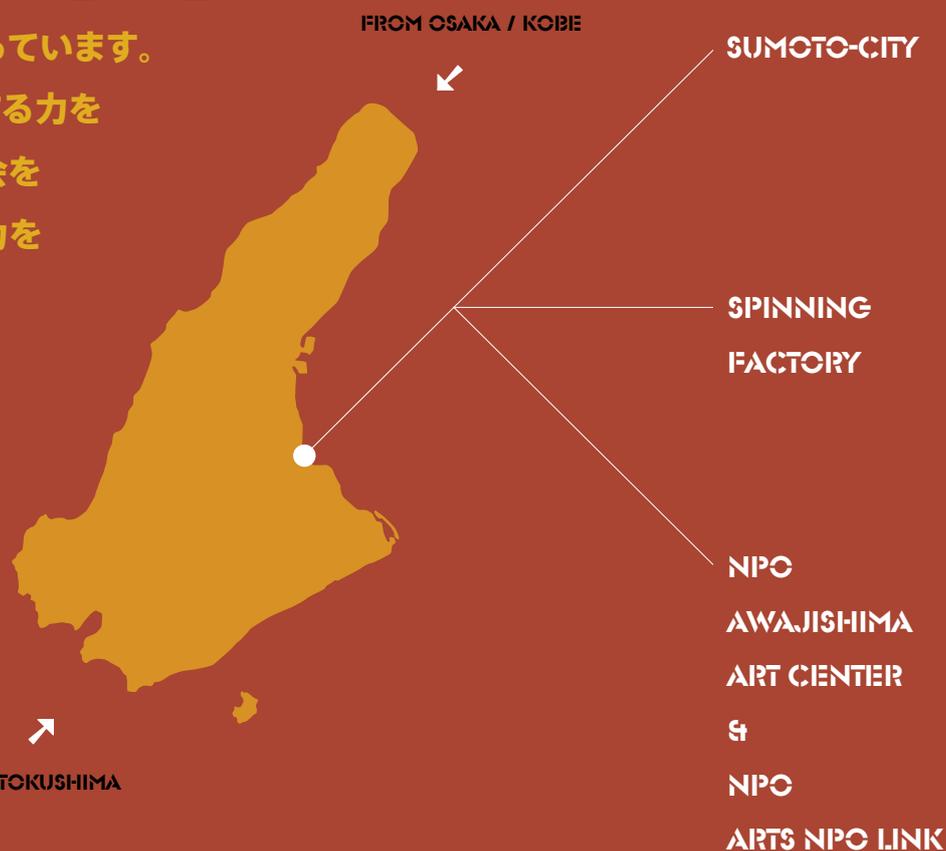
アートNPOは、市民自治の理念にもとづき、アートと社会の橋渡しを通して、幅広く領域をこえたNPOと連携し、豊かな市民社会を創出する役割を担っています。

アートは社会の変化を先取りする力を持っており、アートNPOは、社会を変革する潮流において大きな力を発揮できると考えます。

「全国アートNPOフォーラム in 淡路島」では、アートという共通項のもと、活動内容や形態を異にするさまざまな全国のアートNPOが集い、討論する場を設けます。

そして、個々の声を集約し、アートが多様な価値を創造し、社会を動かす力を持つ、社会的な存在であるとの認識をもとに、アートNPOの意義を社会に訴え、それによってアートをめぐる環境が社会の理解を得ながら向上していくことをめざします。

ここ淡路島フォーラムでは、NPO活動における課題や共有化されたニーズをもとに、アートNPOの基盤が向上するよう芸術文化振興に関する「淡路島アート議定書」の発表にむけ、発展的な議論をおこないます。



淡路島アート議定書!

2007年12月14日(金)・15日(土)・16日(日)

料金 一般料金=2日通し 2,000円 / 1日 1,500円
 会員割引=2日通し 1,500円 / 1日 1,000円
 15日交流会=3,000円
 16日オプションツアー=3,000円(昼食付き)
 定員 100名 ※会場定員。定員になり次第締切。
 会場 旧紡績工場 赤レンガ倉庫

淡路島アートセンターは、2004年の台風23号の災害後アートNPO活動を始めました。災害で壊れた一軒の古民家「日の出亭」再生事業を始めた事で、島内外アーティストや住民の方々などと交流が生まれ、地域との連携と日常におけるアートの大切さを改めて感じました。アートを通して、場所や地域の文化などの「資源」を再発見し、再考して、生きていく力を見つけていきたいと考えています。

第1回全国アートNPOフォーラムが神戸で開催されてから早4年。アートNPOの活動は飛躍的に発展し、さまざまな仕組みや事業がうみだされています。

地域におけるこれらの活動が未来につづくために、アートNPOの基盤を整備し、芸術文化に主体的に関わる当事者を増やすことが求められています。

この度の全国アートNPOフォーラムがまさに、淡路島アート議定書としての力を発揮できるか? 全国アートNPOフォーラムに関わる方々、団体、それぞれの熱い結晶がこの地、淡路島に集まることに島民として大きな期待と可能性を感じています。

NPO法人淡路島アートセンター 理事長 久保拓也

12月14日[金] 基調講演 & 瀬戸内アート団体によるプレゼンテーション & ディスカッション

受付開始	14:45	開催あいさつ	久保拓也 [淡路島アートセンター 理事長]
スタート・開催あいさつ	15:30	基調講演	北川フラム [地中美術館 総合ディレクター]
基調講演	15:40 [45分]	プレゼンテーション	1 BEPPU PROJECT
プレゼンテーション	16:25 [4団体]		2 クオリティ アンド コミュニケーション オブ アート
コメント&ディスカッション	18:10 [90分]		3 NAMURA ART MEETING '04-'34
名刺交換会	20:00 [任意]		4 淡路島アートセンター

瀬戸内で活動するアート団体が淡路島に集結! 産業遺産などを転用し、地域の文化拠点を創出させるアート団体たち。そのビジョンと戦略、事業をプレゼンし、活動課題の共有をはかります。都市づくりと企業の視点からのコメントや、淡路島をケーススタディにした討論も開催します。

コメンテーター 北沢 猛 [アーバンデザイナー/横浜市参与]
 布施直人 [トヨタ自動車(株) 社会貢献推進室長]
 司会進行 田野智子 [ハート・アート・おかやま 代表]
 ディスカッション 参加者全員

※敬称略

12月15日[土] 洲本市内まちあるき & 「淡路島アート議定書」をめぐる公共の議論 & 交流会

まちあるき	10:00 [任意/要申込]	まちあるき	「近代産業都市洲本・百年の大計」
受付開始	12:30	コーディネーター	磯崎泰博 [淡路島デザイン会議 代表幹事]
ディスカッション	13:00 [300分]	ディスカッション	「アートNPOの未来にむけた公共の議論」
淡路島アート議定書	18:00 [45分]	ファシリテーター	山口洋典 [應典院寺町倶楽部 事務局長]
閉会あいさつ	18:45	淡路島アート議定書	協議・淡路島アート議定書
交流会(飲食代別料金)	19:00 [任意/要申込]		

※敬称略

午前中は、アートNPOフォーラム恒例のまちあるき(任意参加)。洲本のまちをあるきながら、地域の百年後を想像してみてください。また、フォーラム会場のとなりでは淡路の食満載の「四季のイベント」(午前中)も開催されています。

『アートNPOは可能か?』——第1回神戸フォーラムから4年。午後は、芸術系NPOのこれまでの活動を総括し、未来に向かうためのディスカッションを開催。古代ローマ市の中心にあった集会用広場「フォーラム」の名にあやかり、文字通り集団的公開討論の場として、アート議定書の発表をめざし、複数のトピック毎に参加者全員で日本の公共文化政策について討議します。

12月16日[日] オプションツアー: UMI*HOTAL presents スペシャルバスツアー

せっかく淡路島まで来たのに、このまま帰るのはもったいない! 淡路島アートセンターが展開する「日の出亭」など、淡路島のアートシーンやB級グルメをUMI*HOTALがご案内します。

出発時刻 9:00 → 三ノ宮駅到着予定時刻 14:00 [任意/要申込/別料金]

※別途お申し込みと料金がかかります。定員になり次第締切。事前予約制。

洲本バスセンター出発。淡路島各所をめぐる神戸・三ノ宮駅までまいります。

※洲本市民工房ではフィッシングダイアリーによる展覧会も開催中(予約不要)。

プレゼンテーション団体／司会進行（一日目）

NPO法人

BEPPU PROJECT [大分県別府市]

2005年、大分県別府市を拠点に活動開始。これまでに「全国アートNPOフォーラムin別府」(2006)や「宮島達男展」(2006)、「踊りに行くぜin別府」(2006、NPO法人JCDNと共催)、別府港リノベーション事業(2007)、国際シンポジウム(2007)などを開催。「全国アートNPOフォーラムin別府」で討議した、別府国際現代芸術フェスティバルを2009年春に別府市全域を舞台として開催実現するよう準備を進めている。また、別府市中心街の複合型アートセンター設立を目指す。

NPO法人

クオリティ アンド コミュニケーション オブ アート [愛媛県松山市]

愛媛県松山市に所在し、現在約40名で活動。1997年のトヨタアートマネジメント講座松山の開催をきっかけとして、とくにコンテンポラリーアートを側面から支援し、地域に根付かせようと考えた人々が2004年に結成。質の高いアートの社会的効用を信じ、中間支援に徹した活動を志している。四国アートネットワーク活動や「ミーツ・アーツ・ツアー」、「ミーツ・アーツ・ミーティング」、松山市三津浜の「アート蔵」でのダンス・映像・美術・演劇など、アートと地域、アートと人、アートとアート、地域と地域を結びつける試みを続けている。

NAMURA ART MEETING '04-'34 [大阪府大阪市]

NAMURA ART MEETINGは、2004年から2034年までの30年間に芸術のひと連なりの現場ととらえ、社会や個人が〈出来事〉を共有しつつ未来を創造するという実験の場。新しい芸術の提示、考察、検証、記録を課題とし、〈MEETING〉には、芸術のみならず、社会を構成する多様、多層的な出来事や人々が遭遇し、合流するという意味を含む。そして、芸術が制度や機構への示唆や具体的な方策へと転換する可能性を探る。30年間の芸術の変遷を追うことも、意図している。

NPO法人

淡路島アートセンター [兵庫県洲本市]

2005年06月NPO法人化。「アートというフィルターを通したまちづくり」をモットーに、2004年の台風23号によって土砂災害にあった空き家のリノベーション作業を始め、その場所を拠点としながら、コミュニケーション型アートイベントの企画運営をしている。淡路島というローカルに身を置きながらもアートを通じてグローバルに繋がっていきたくと考えている。当フォーラム主催団体のひとつ。

NPO法人

ハート・アート・おかやま [岡山県岡山市] 司会進行 田野智子 [たの・ともこ]

1999年トヨタエイブルアートフォーラムを機に発足。2002年改称。芸術文化を取り入れた生活が日常的にできるよう、「アートリンク・プロジェクト」(2004年より継続)、「奉還町商店街アート展」などを展開。中心市街地、山間部や離島など、季節・場所を変えて行うワークショップや、長期コラボレーションを仕組み、障害者や高齢者・子どもを含め、人と人が出会い、繋がり、感性を交感すること、それぞれがアートを通して「かけがえのない存在」となることをめざして活動している。

基調講演

北川フラム [きたがわ・ふらむ]

地中美術館総合ディレクター／アートフロントギャラリー主宰／新潟市美術館館長／女子美術大学教授など

主なプロデュースとして、「アントニオ・ガウディ展」、「アパルトヘイト否！国際美術展」など。まちづくりの実践では、「ファーレ立川アート計画」、「越後妻有アートネットワーク整備構想」の総合ディレクターなど多数。同プロジェクトによる「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」は2001年の「ふるさとイベント大賞」のグランプリを受賞した。平成18年度芸術選奨(芸術振興部門)、平成19年度国際交流奨励賞・文化芸術交流賞受賞。

コメンテーター（一日目）

北沢 猛 [きたざわ・たける]

アーバンデザイナー／東京大学教授／横浜市参与・京都府参与・千葉県参与
1977年横浜市入庁。都市デザイングループに参画。『都市政策』から『市民まちづくり』まで幅広く経験。横浜市都市デザイン室長を経て、1997年に東京大学大学院工学系研究科、2005年には新領域創成科学研究科(環境学・工学系を兼務)、2006年にUDCKアーバンデザインセンターでセンター長。

著書に「ある都市の歴史—横浜330年」(福音館書店)。

布施直人 [ふせ・なおと]

トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部 社会貢献推進室長 担当部長
1979年トヨタ自動車入社。1983年米国イリノイ大学留学。1985～87年米国キャルティデザイン出向。1988～92年国際経済研究所出向。1993～97年トヨタ自動車海外渉外広報部。1998年～2002年ベルギー、トヨタモーターヨーロッパ勤務。2003～05年広報部社会文化広報室長 担当部長、2006年より現職。社会貢献推進室は環境、人材育成、メセナ、共生社会の分野で、社会貢献活動自主プログラムの企画・運営および社員ボランティア活動の担当部署。企業メセナ協議会大賞部会長、NPO法人アートネットワーク・ジャパン理事。

ファシリテーター（二日目）

山口洋典 [やまぐち・ひろのり]

應典院主幹／應典院寺町倶楽部事務局長／同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授

立命館大学・院卒業後2000年より財団法人大学コンソーシアム京都に勤務。産官学地域連携の教育・研究に従事。在職中に大阪大学にてネットワーク型まちづくりの集団力学に関する研究で博士(人間科学)の学位を取得。2006年に得度し大阪・天王寺区の劇場寺院「應典院」の僧侶に。統括責任者「主幹」に就くと同時に事業型NPOの長を務める。同年10月より同志社大学教員を兼務。「よくわかるNPO・ボランティア」(共著)など。



淡路島アートセンター

<http://awajishima-art-center.jp/>

アートNPOリンク

<http://arts-npo.org>

- 会場 旧紡績工場 赤レンガ倉庫
兵庫県洲本市塩屋1丁目1-8
- 日程 2007年12月14日[金]~16日[日]
※ただし16日はオプションツアーのみ
- 料金 一般料金 2日通し 2,000円 / 1日 1,500円
会員割引 2日通し 1,500円 / 1日 1,000円
15日交流会 3,000円 (学生 1,500円)
16日オプションツアー 3,000円 (昼食付き)
※会員はアートNPOリンク会員(正・賛助・学生会員)および
淡路島アートセンター会員。団体会員は3名様まで有効です。

- 予約 メールまたはファックスに必要事項を記入のうえ、
お申込みください。

- ①お名前(ふりがな)
- ②ご所属
- ③電話番号
- ④メールアドレスまたはFAX番号または住所
- ⑤15日まちあるきの参加申込 [する・しない]
- ⑥15日交流会の参加申込 [する・しない]
- ⑦16日オプションツアーの参加申込 [する・しない]

※事前に参加票および資料をお送りさせていただきます。
※15日まちあるき、16日ツアーは後日集合場所等をご案内します。
※定員がありますので、ご予約をお願い致します。
※メールは添付データ(PDF)を受信できるアドレスにしてください。
※メールの件名を「アートNPOフォーラム予約」としてください。
※取得した個人情報は、利用目的の範囲外で利用しません。

- 申込先 アートNPOフォーラム淡路島事務局(洲本市民工房内)
E-mail forum07@arts-npo.org
FAX 0799-22-3322
〒656-0021兵庫県洲本市塩屋1-1-17
洲本アルチザンスクエア内 洲本市民工房

- 問合せ先 NPO法人 アートNPOリンク
TEL 075-231-8607
MP 080-2444-6322 (11:00~18:00)
E-mail anl@arts-npo.org

NPO法人 淡路島アートセンター
TEL 090-5066-4604
E-mail awajishima.art.c@hi.awaji-bb.jp

- アクセス 地図・時刻表・バス停は上記ウェブサイトにてご案内します。

＜お車の場合＞

…神戸西I.C/名谷I.C→垂水JCT→明石海峡大橋→洲本I.C
…鳴門I.C→大鳴門橋→洲本I.C 28号線を東へ

＜高速バスの場合＞

- ・JR大阪駅桜橋口より125分
 - ・梅田阪急三番街より120分
 - ・JR新神戸駅より94分
 - ・JR三宮駅より80分
 - ・学園都市(神戸)より65分
 - ・高速舞子(神戸)より59分
- 洲本高速バスセンターへ

洲本高速バスセンター
から徒歩すぐ



- 主催 NPO 淡路島アートセンター
Arts NPO Link
- 助成 Asahiアサヒビール芸術文化財団
- 協賛 SHI/EIDO トヨタ自動車株式会社 NEC
- 協力 Asahiアサヒビール株式会社
- 後援 淡路市 洲本市 南あわじ市 淡路県民局
淡路島観光連盟 洲本市観光協会 社団法人 企業メセナ協議会